

## 「ベトナムの最近のトピックス」

中川 良一

## ＜今年（2020年）は2016年から始まった5か年計画最終年＞

ベトナムにとって2020年は、2016年から始まった5か年計画の最終年です。2021年から始まる次期5か年計画の制定と指導部の人事調整に向けて、さまざまな政治的な動きがあります。

人事に関しては、9月に各地方で党大会が開催され、各地の党大会で発展方針の制定及び省の党書記及び指導部が選出されました。首都ハノイの党大会は10月11日～13日に、南部最大都市であるホーチミン市の党大会は10月14日～18日に開催されました。今後の重要な政治日程は次のとおりです。

- 来年1月 共産党全国大会にて指導部・中央委員選出
- 来年5月：国会で議長・首相の選出、地方議会選挙

5か年計画に関しては、計画投資省より現在の計画の実績と次期計画の目標の説明が次のとおりありました。

- 2016～2019年の年平均GDP成長率：6.8%。ただし、新型コロナ禍の影響で2020年の成長率は2%程度の見通し。2016～2020年の平均成長率は5.8%前後の見込。2020年の国内総生産（GDP）の規模約2,690億USD（約28兆2,450億円）。国民1人当たりのGDP約2,750USD（約29万円）
- 2021～2025年計画での5年間の年平均GDP成長率（目標）：6.5～7%
- 2025年の1人当たりGDP（目標）：4,700～5,000USD（約493,500～520,500円）

## ＜オンライン診断網の導入開始＞

医療省は9月25日、全国約1千か所の地方診療所と約30の病院との間でオンライン診断網「テレヘルス(Telehealth)」を導入し、完成式典が行われました。ベトナムでは医療機関は中央・省・郡・村の4つに分けられており、このオンライン診断システムは、中央レベルの比較的大きい病院から郡レベルの医療施設の診断治療を支援します。

## ＜9月から全土で新学期はじまる＞

9月5日に2020～2021年の入学式・始業式が開催され、幼稚園児から高校生までの約2,300万人が新学年を迎えました。

全国生徒数2,300万人のうち、園児538万人、小学生870万人、中学生600万人、高校生280万人です。8月に高卒全国統一試験が行われ、同試験を受けた学生（高卒）の人数は約90万人でした。



【チャンフー高等学校（ハイフォン市）の入学式】  
（出典 ハイフォン市ホームページより）  
※ハイフォン市：ベトナム北部の中央直轄市

## ＜行政は手続きの一層の簡素化を目指す＞

ベトナムでは2007年より行政手続きが簡素化され、その結果、世界銀行による経営環境ランキング（“Ease of Doing Business 2020”）で、ベトナムは一挙に20ランクもアップし、190か国中70位にランキングされました。（※ちなみに1位はニュージーランド、日本は29位です）

10月1日に、この行政手続き簡素化の指揮をとる官房長官は、記者会見で今後の行政手続き簡素化を一層徹底するという方針を発表しました。行政手続き簡素化の方針は次のとおりです。

- 企業の経営環境改善を重視する。
- 対象となるのは全ての業種。全ての現行規定が見直しの対象となる。
- IT技術の導入により行政手続きの簡素化を図る。
- 国民及び企業の意見を反映させる。

来年1月には新投資法が施行され、さらにベトナムの投資環境の改善される予定です。ベトナム政府は、幅広い分野で日本からの投資が行われることを期待しています。